「すみだの雨水活用２万6千トン」 ～全国に誇れる「すみだの雨水活用」～

社会（郷土理解）　理科　家庭科　総合（環境）

- 実施日　令和４年１１月７日（月）
- 実施校　墨田区立二葉小学校　５年生
- 講　師　雨水市民の会　理事
- 内　容　① 全国に誇れる「すみだの雨水活用」とは？（講話）
  水の大切さ　水の循環　日本の降水量　下水道の仕組み　降った雨はどこに？
  墨田区の雨水活用　天水尊・路地尊　などについて学習しました。
  ② 雨水の性質を調べよう（実験）
  - 雨水のにごり、色、においを調べよう！（実験１）
  - 酸性雨ってなあに？…リトマス試験紙による（実験２）
  - 泡立ちの実験をしてみよう…雨水はよく泡がでる《汚れが落ちやすい》（実験３）

【児童の感想】

- 「雨水市民の会」の説明から、どんどん本題に入っていって、聞いていて自然と頭に入っていきやすかったです。クイズ式になっているところもあってあきずに最後まで聞くことができました。
- 雨水は飲むときたないと聞いていたのに、こんなにきれいなんだと知って驚いた。手を洗う時は雨水の方が向いているのかも知れない。雨水利用が地球を救うとは、決して大げさではないと思った。
- 東京の雨水は、濁ってもいないし、においもなくきれいだということを初めて知りました。雨水は少し汚いイメージだったけど、生活に再利用できることを知りました。実験で、雨水と水道水に石鹸を入れて振ると雨水の方が泡だったことを知り、雨水は色々な生活に使えて、しかも便利だということを知りました。
- レモン液を垂らした瞬間すぐに青からピンクになった。そして、公園の下にも雨水をためて使っていることを知りました。理科にも関わっていて勉強になりました。水を大切にしようと思いました。
- 下水道の種類は今までは、１種類かと思っていたけど、合流式と分流式の２種類があることが分かった。

【先生からの感想】

- 酸性雨など色々な環境問題がある中で、まず、率直に雨水がこんなにきれいだということに驚きました。そのことについて、子供たち自身も実験を通して実感を伴って理解することができました。
- パンフレットには書いてあるのですが、雨水を蓄えたことで、どんなことに利用されているかなど、効果や利点について、もう少し話があると、子供たちにもっと説得力があったのかなあと思いました。